

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 アルプス電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6770 URL <http://www.alps.com/ji/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡政隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理担当 (氏名) 甲斐政志

TEL 03-3726-1211

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|-------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 159,778 | — | 823 | — | 4,258 | — | 608 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 177,986 | 4.5 | 6,258 | △14.6 | 7,587 | △0.7 | 3,437 | 18.6 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 3.40 | 3.05 |
| 20年3月期第1四半期 | 19.18 | 17.47 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 508,450 | 284,755 | 284,755 | 284,755 | 38.9 | 1,102.81 |
| 20年3月期 | 494,755 | 280,317 | 280,317 | 280,317 | 39.2 | 1,081.63 |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 197,647百万円 20年3月期 193,853百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|---------|-----|--------|-----|--------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 330,000 | — | 7,000 | — | 7,000 | — | 3,000 | — | 16.74 |
| 通期 | 700,000 | 1.1 | 21,000 | 5.7 | 21,000 | 60.0 | 7,000 | 58.4 | 39.06 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 181,559,956株 20年3月期 181,559,956株
② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,337,299株 20年3月期 2,336,566株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 179,222,925株 20年3月期第1四半期 179,227,085株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、原油高に始まる原材料や食料などの価格高騰により、これらを引き金としたインフレへの懸念が実態経済へも影響し始め、景気は減速感を増しております。日本におきましても、先行きの不透明感から個人消費が低迷しており、加えて世界的な景気減速の影響を受けるなど、景気の後退が懸念されています。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は1,597億円(前年同期比10.2%減)となりました。損益につきましては、前年同期と比較して為替の急激な変動などもあり、営業利益8億円(同86.8%減)、経常利益42億円(同43.9%減)、四半期純利益は6億円(同82.3%減)となりました。

当期の業績全般に関する事業の種類別セグメントの状況

<電子部品事業>

当社としましては、原油・原材料価格の高騰や為替の変動、競合との絶え間ない受注獲得競争など、依然として厳しい事業環境が続く中、車載・モバイル(携帯)・ホーム(家電)市場を切り口として、積極的な受注・拡販活動を行ってまいりましたが、特に車載市場において、米国を中心とした自動車販売の急減の影響などにより、売上高・営業利益ともに、前年同期実績を下回る結果となりました。

各部門別の状況につきましては、以下のとおりです。

[コンポーネント事業]

携帯電話向けにシェアの高いコンタクトシート™をはじめとしたスイッチなどが、年初からの携帯電話市場低迷により数量が伸び悩んでいますが、ゲームや民生用途向けで数量をカバーしており、概ね底堅く推移しました。また、車載用センサは、自動車販売低迷の影響を受け、減少しました。

なお、磁気デバイス事業の売上につきましては、主力製品のHDD(ハードディスクドライブ)用ヘッドが、平成20年3月期をもってほぼ終息したことから、当連結会計年度より当コンポーネント事業に含めています。

この結果、当部門の売上高は235億円(前年同期比25.1%減)となりました。

[情報通信事業]

デジタル放送の普及に伴う世代交代が進み、主力製品のデジタルチューナが世界的に市場規模を拡大しており、また当社の取り組みが得意先より評価され、売上が増加しました。一方、当社の高周波技術を車載電装ビジネスに活かした車載用Bluetooth™モジュールは、自動車販売が低迷していることなどから売上が伸び悩みました。

この結果、当部門の売上高は125億円(前年同期比3.5%減)となりました。

[ペリフェラル事業]

主要製品のひとつである小型フォトプリンタにおいて、従来製品は市場の低迷から売上が減少傾向にあります。新製品の生産を期初から開始しており、今後の売上貢献を期待しています。また、新しい家庭用ゲーム機向けのコントローラモジュール製品の売上は低調なスタートとなりました。

この結果、当部門の売上高は217億円(前年同期比13.4%減)となりました。

[車載電装事業]

原油価格の高騰などを背景に、北米市場における大型車を中心とした自動車の販売が低迷しており、米国自動車メーカー向けにモジュール製品などの売上が減少しました。また、前年同期と比較して、為替の急激な変動も減収の要因となりました。

この結果、当部門の売上高は254億円(前年同期比8.2%減)となりました。

以上の結果、当電子部品事業の売上高は832億円(前年同期比14.4%減)、営業損失は9億円(前第1四半期における営業利益は11億円)となりました。

<音響製品事業>

音響製品事業(アルパイン(株)・東証一部)において、音響機器事業部門では、日・米・欧の市販市場向けに投入したiPod®対応ヘッドユニットの売上が堅調に推移しましたが、CDプレーヤーなどの主力商品が、価格競争激化の影響などから売上が減少しました。また、自動車メーカー向けでも、欧米メーカーのモデルチェンジの影響により、売上が減少しました。情報・通信機器事業部門では、国内市販市場において新製品の売上が寄与するも、欧米市場における低価格PND(ポータブル・ナビゲーション・デバイス)の普及拡大などにより、ナビゲーションの販売が厳しい状況で推移したため、売上が減少しました。また、欧州メーカー向け大型システム商品の受注増加があるもの

の、主力の北米市場で販売が落ち込んでおり、自動車メーカー向けの売上は横ばいとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は623億円(前年同期比8.0%減)、営業利益は3億円(同89.6%減)となりました。

<物流・その他事業>

物流事業((株)アルプス物流・東証二部)において、電子部品物流部門では、電子部品の需要減少により貨物量が減少し、厳しい事業環境ながらも、若干の増収となりました。また、消費物流事業部門では、生協関連の個配業務を中心に売上を拡大するも、新拠点設立に伴う費用や燃料費高騰などの影響を受け、減益となりました。商品販売事業部門では、顧客の海外生産における資材の現地調達化推進に対応し、中国で売上を拡大するも、国内での需要減少に伴い、全体としては若干の増収となりました。

以上の結果、物流事業及びその他事業を含めた当事業の売上高は141億円(前年同期比9.0%増)、営業利益は13億円(同19.5%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ136億円増加し5,084億円、自己資本は37億円増加の1,976億円となり、自己資本比率は38.9%となりました。

主な内容として、流動資産はたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末と比べ55億円増加の2,952億円となりました。

固定資産は、機械装置及び建設仮勘定などが増加したことにより、前連結会計年度末と比べ81億円増加の2,132億円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ85億円増加の1,568億円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ7億円増加の668億円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物(以下、資金)は、前連結会計年度末と比べ73億円減少し、当第1四半期連結会計期間末の残高は、718億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は、24億円となりました。この減少の主な要因は、法人税等の支払額59億円と賞与引当金の減少40億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、129億円となりました。この減少の主な要因は、電子部品事業を中心とした固定資産の取得による支出119億円の資金の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の増加は、65億円となりました。この増加の主な要因は、短期借入金の純増加額97億円及び配当金の支払額17億円による資金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現段階における連結業績予想については、平成20年5月8日付「平成20年3月期決算短信」で発表しました以下の連結業績見通しに変更はありません。

| | | | |
|-----------|-------|---------|---------------|
| <連結業績見通し> | 売上高 | 7,000億円 | (前年度比 +1.1%) |
| | 営業利益 | 210億円 | (前年度比 +5.7%) |
| | 経常利益 | 210億円 | (前年度比 +60.0%) |
| | 当期純利益 | 70億円 | (前年度比 +58.4%) |

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費については、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間予算を期間按分して算定しています。

②一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定しています。

③一部の連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しています。

④一部の連結子会社における法人税等の納付額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ1,096百万円増加し、税金等調整前四半期純利益が2,349百万円減少しています。

③当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しています。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|------------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 72,464 | 78,825 |
| 受取手形及び売掛金 | 116,263 | 111,277 |
| 有価証券 | 130 | 31 |
| 製品 | 44,006 | 41,665 |
| 原材料 | 13,659 | 13,236 |
| 仕掛品 | 12,650 | 11,759 |
| 貯蔵品 | 5,763 | 5,864 |
| 繰延税金資産 | 10,970 | 8,703 |
| その他 | 20,877 | 20,000 |
| 貸倒引当金 | △1,584 | △1,741 |
| 流動資産合計 | 295,202 | 289,623 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 112,921 | 111,102 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △73,929 | △71,785 |
| 建物及び構築物（純額） | 38,991 | 39,317 |
| 機械装置及び運搬具 | 186,791 | 186,529 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △139,675 | △140,572 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 47,116 | 45,957 |
| 工具、器具及び備品 | 121,105 | 118,078 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △103,370 | △100,684 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 17,735 | 17,394 |
| 土地 | 29,230 | 28,804 |
| 建設仮勘定 | 11,603 | 7,484 |
| 有形固定資産合計 | 144,677 | 138,957 |
| 無形固定資産 | 14,820 | 15,169 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 28,190 | 24,933 |
| 繰延税金資産 | 9,399 | 10,029 |
| 前払年金費用 | 9,430 | 9,769 |
| その他 | 6,870 | 6,412 |
| 貸倒引当金 | △140 | △139 |
| 投資その他の資産合計 | 53,750 | 51,005 |
| 固定資産合計 | 213,248 | 205,132 |
| 資産合計 | 508,450 | 494,755 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 69,516 | 63,919 |
| 短期借入金 | 24,729 | 14,246 |
| 未払費用 | 23,560 | 21,593 |
| 未払法人税等 | 2,787 | 8,753 |
| 繰延税金負債 | 333 | 362 |
| 賞与引当金 | 4,743 | 8,762 |
| 製品保証引当金 | 4,666 | 4,859 |
| その他の引当金 | 45 | 125 |
| その他 | 26,448 | 25,687 |
| 流動負債合計 | 156,831 | 148,311 |
| 固定負債 | | |
| 新株予約権付社債 | 28,709 | 28,725 |
| 長期借入金 | 29,988 | 30,115 |
| 繰延税金負債 | 2,055 | 1,607 |
| 退職給付引当金 | 3,145 | 2,675 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,665 | 1,860 |
| 環境対策引当金 | 289 | 289 |
| その他 | 1,008 | 853 |
| 固定負債合計 | 66,863 | 66,126 |
| 負債合計 | 223,694 | 214,437 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 23,623 | 23,623 |
| 資本剰余金 | 45,586 | 45,586 |
| 利益剰余金 | 132,399 | 133,450 |
| 自己株式 | △3,550 | △3,550 |
| 株主資本合計 | 198,058 | 199,110 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,485 | 2,395 |
| 土地再評価差額金 | △569 | △569 |
| 為替換算調整勘定 | △3,327 | △7,083 |
| 評価・換算差額等合計 | △411 | △5,256 |
| 少数株主持分 | 87,108 | 86,463 |
| 純資産合計 | 284,755 | 280,317 |
| 負債純資産合計 | 508,450 | 494,755 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 159,778 |
| 売上原価 | 137,988 |
| 売上総利益 | 21,789 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,965 |
| 営業利益 | 823 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 253 |
| 受取配当金 | 282 |
| 持分法による投資利益 | 48 |
| 為替差益 | 2,608 |
| 雑収入 | 797 |
| 営業外収益合計 | 3,990 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 203 |
| 雑支出 | 352 |
| 営業外費用合計 | 556 |
| 経常利益 | 4,258 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 80 |
| 投資有価証券売却益 | 53 |
| その他 | 83 |
| 特別利益合計 | 217 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 427 |
| たな卸資産評価損 | 3,446 |
| その他 | 292 |
| 特別損失合計 | 4,166 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 309 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 570 |
| 法人税等調整額 | △1,564 |
| 法人税等合計 | △993 |
| 少数株主利益 | 694 |
| 四半期純利益 | 608 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

| | |
|----------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 309 |
| 減価償却費 | 8,049 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △97 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △4,037 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △363 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 447 |
| 長期前払年金費用の増減額(△は増加) | 339 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △194 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 1,241 |
| 受取利息及び受取配当金 | △536 |
| 支払利息 | 203 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △48 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 347 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △311 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,559 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 859 |
| その他 | △1,507 |
| 小計 | 3,141 |
| 利息及び配当金の受取額 | 630 |
| 利息の支払額 | △265 |
| 法人税等の支払額 | △5,960 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,454 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △830 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △10,604 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 373 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,394 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △222 |
| その他 | △251 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,931 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 9,711 |
| 長期借入金の返済による支出 | △139 |
| 配当金の支払額 | △1,792 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △1,202 |
| その他 | 4 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 6,581 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,502 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △7,301 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 79,178 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 71,876 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

| | 電子部品 事業 (百万円) | 音響製品 事業 (百万円) | 物流・ その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------|-------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 83,227 | 62,390 | 14,161 | 159,778 | — | 159,778 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,623 | 899 | 7,026 | 9,549 | (9,549) | — |
| 計 | 84,850 | 63,289 | 21,187 | 169,327 | (9,549) | 159,778 |
| 営業利益（△営業損失） | △969 | 343 | 1,376 | 750 | 73 | 823 |

(注) 1 事業の区分は、製品の種類及び販売市場の共通性を考慮して、電子機器向けの電子部品事業と、カーオーディオを中心とする音響製品事業及び物流・その他事業に区分しています。

2 各事業区分に属する主要製品名

(1) 電子部品……………スイッチ、可変抵抗器、センサ、コネクタ、チューナ、データ通信用モジュール、プリンタ、
アミューズメント用機器、車載用操作ユニット/ステアリングモジュール等

(2) 音響製品……………カーオーディオ、カーナビゲーションシステム等

(3) 物流・その他……………物流サービス等

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4. (3) ②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しています。この変更に伴い、従来の方法による場合に比べて、営業利益が、「電子部品事業」で554百万円、「音響製品事業」で550百万円、それぞれ増加し、「物流・その他事業」で9百万円減少しています。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 47,403 | 29,540 | 46,733 | 35,682 | 419 | 159,778 | — | 159,778 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 80,443 | 674 | 11,661 | 30,987 | — | 123,766 | (123,766) | — |
| 計 | 127,846 | 30,214 | 58,394 | 66,669 | 419 | 283,545 | (123,766) | 159,778 |
| 営業利益（△営業損失） | △633 | 430 | 351 | 1,467 | 33 | 1,649 | (825) | 823 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ、メキシコ

(2) 欧州……………ドイツ、スウェーデン、イギリス

(3) アジア……………韓国、シンガポール、マレーシア、中国

(4) その他……………オーストラリア

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4. (3) ②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しています。この変更に伴い、従来の方法による場合に比べて、営業利益が、「日本」で1,102百万円増加し、「アジア」で5百万円減少しています。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

| | 北米 | 欧州 | アジア | その他 | 計 |
|--------------------------|--------|--------|--------|-----|---------|
| I 海外売上高（百万円） | 29,962 | 47,184 | 40,802 | 967 | 118,916 |
| II 連結売上高（百万円） | | | | | 159,778 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 18.8 | 29.5 | 25.5 | 0.6 | 74.4 |

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ、メキシコ

(2) 欧州……………ドイツ、スウェーデン、イギリス

(3) アジア……………韓国、シンガポール、マレーシア、中国

(4) その他……………オーストラリア、ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 金額（百万円） | 前年同期比（%） |
|----------------|---------|----------|
| 電子部品事業 | 84,192 | — |
| 音響製品事業 | 52,413 | — |
| 物流・その他事業 | — | — |
| 合計 | 136,606 | — |

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. 金額は、販売価格によっています。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 受注高 （百万円） | 前年同期比（%） | 受注残高 （百万円） | 前年同期比（%） |
|----------------|--------------|----------|---------------|----------|
| 電子部品事業 | 88,343 | — | 38,077 | — |
| 音響製品事業 | 63,048 | — | 31,153 | — |
| 物流・その他事業 | — | — | — | — |
| 合計 | 151,392 | — | 69,230 | — |

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 金額（百万円） | 前年同期比（%） |
|----------------|---------|----------|
| 電子部品事業 | 83,227 | — |
| 音響製品事業 | 62,390 | — |
| 物流・その他事業 | 14,161 | — |
| 合計 | 159,778 | — |

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(7) 部門別販売実績

部門別販売実績は、次のとおりです。

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|-----------|-----------------------------------------------|-------------|
| 部門 | 売上高 (百万円) | 構成比率 (%) |
| 電子部品事業 | 83,227 | 52.1 |
| コンポーネント事業 | 23,548 | 14.7 |
| 情報通信事業 | 12,535 | 7.9 |
| ペリフェラル事業 | 21,718 | 13.6 |
| 車載電装事業 | 25,424 | 15.9 |
| 音響製品事業 | 62,390 | 39.0 |
| 物流・その他事業 | 14,161 | 8.9 |
| 合計 | 159,778 | 100.0 |

(8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額(百万円) |
| I 売上高 | 177,986 |
| II 売上原価 | 150,970 |
| 売上総利益 | 27,015 |
| III 販売費及び一般管理費 | 20,756 |
| 営業利益 | 6,258 |
| IV 営業外収益 | 2,358 |
| 1 受取利息 | 359 |
| 2 受取配当金 | 259 |
| 3 持分法による投資利益 | 33 |
| 4 為替差益 | 1,171 |
| 5 雑収入 | 535 |
| V 営業外費用 | 1,028 |
| 1 支払利息 | 393 |
| 2 雑支出 | 635 |
| 経常利益 | 7,587 |
| VI 特別利益 | 47 |
| 1 固定資産売却益 | 21 |
| 2 投資有価証券売却益 | 7 |
| 3 その他特別利益 | 19 |
| VII 特別損失 | 293 |
| 1 固定資産売却除却損 | 219 |
| 2 その他特別損失 | 73 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,342 |
| 税金費用 | 1,918 |
| 少数株主利益 | 1,986 |
| 四半期純利益 | 3,437 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 区分 | 金額(百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,342 |
| 減価償却費 | 10,136 |
| 退職給付引当金の増加額 | 143 |
| 長期前払年金費用の減少額 | 186 |
| 未払費用の増加額 | 720 |
| 売上債権の減少額 | 2,850 |
| たな卸資産の増加額 | △3,187 |
| 仕入債務の減少額 | △3,837 |
| 長期未払金の減少額 | △1,894 |
| その他 | △762 |
| 小計 | 11,698 |
| 法人税等の支払額 | △3,408 |
| その他 | 214 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,505 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 固定資産の取得による支出 | △11,632 |
| その他 | △1,210 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △12,843 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純減少額 | △457 |
| 長期借入れによる収入 | 96 |
| 長期借入金の返済による支出 | △561 |
| 配当金の支払額 | △1,792 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 |
| その他 | △863 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,580 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,125 |
| V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額) | △5,792 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 82,751 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 76,958 |

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

| | 電子部品事業 (百万円) | 音響製品事業 (百万円) | 物流・ その他の事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------|-----------------|-----------------|------------------------|---------|-------------|-------------|
| 売上高 | 99,415 | 68,906 | 20,526 | 188,847 | (10,861) | 177,986 |
| 営業費用 | 98,255 | 65,590 | 18,815 | 182,661 | (10,934) | 171,727 |
| 営業利益 | 1,159 | 3,315 | 1,711 | 6,185 | 72 | 6,258 |

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | 144,100 | 38,885 | 57,697 | 66,076 | 333 | 307,094 | (129,108) | 177,986 |
| 営業費用 | 140,738 | 37,949 | 56,428 | 63,260 | 324 | 298,701 | (126,973) | 171,727 |
| 営業利益 | 3,362 | 936 | 1,268 | 2,816 | 9 | 8,393 | (2,134) | 6,258 |

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

| | 北米 | 欧州 | アジア | その他 | 計 |
|---------------------------|--------|--------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高 (百万円) | 38,659 | 42,597 | 44,735 | 1,171 | 127,162 |
| II 連結売上高 (百万円) | | | | | 177,986 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%) | 21.7 | 23.9 | 25.1 | 0.7 | 71.4 |